

石川県七尾美術館だより

平成30年10月1日発行
編集・発行 (公財)七尾美術財団

第95号(秋号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

2018 イタリア・ボローニャ
国際絵本原画展

「動物たちの町」

ジュアン・ネグレスコロール (スペイン)

展覧会紹介

平成30年10月1日(月)～12月28日(金)

休館日については裏表紙をご覧ください

「2018イタリア・ボローニャ

国際絵本原画展」

11月2日(金)～12月9日(日)

〔会期中無休〕

◆第1・第2・第3展示室

イタリアのボローニャ市では毎年春になると、児童書専門の国際見本市、「ボローニャ・ブックフェア」(以下「ブックフェア」)が開かれます。1964年から続くこのブックフェアは、世界各国の出版社がブースを構え版權の売買などを行うだけでなく、編集者やイラストレーター、研究者といった児童書にたずさわるあらゆる職種の専門家たちが集います。児童書に関する様々なプロジェクトが進行する中、イベントの1つとして絵本原画コンクールを実施しており、入選作品はブックフェアで展示されます。



「ジャンパバイ」 ファン・ウナ (韓国)

コンクールは5枚1組の原画を審査するもので、5人の児童書の専門家が一堂に会し、テーブルに並べられた全ての応募作品に目を通します。出版歴の有無にかかわらず平等に審査されるため、イラストレーターの登竜門として知られています。また、審査員が毎年変わるため、年毎に入選作品にも変化が生まれます。今年の世界の70を超える国々から3,053組の応募があり、25カ国、77作家(日本人10名を含む)の作品が入選しました。バラエティー豊かな作品群からは、イラストレーションの現状とその未来をうかがい知ることが出来ます。

この入選作品はブックフェアが終了すると日本に運ばれ、「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」(以下「ボローニャ展」)として国内を巡回した後、中国をはじめとする国々でも展示されます。当館では1998年から継続して開催しており、今年で21回目を迎えます。優れたイラストは単にテキストを補うのではなく、相乗効果により物語のイメージを増幅させてくれます。絵本のページをめくるように5枚のイラストを手掛かりとして、物語の世界をお楽しみください。

【今年の審査員】

アナスタシア・アルヒポワ
(イラストレーター、モスクワ・ストロガノフ美術大学教授/ロシア)
ペギー・エスピノサ(ペトラ出版社/メキシコ)
ウィリアム・グリル(イラストレーター/イギリス)
アリン・ジョンストン(ビーチ・レイン・ブックス社/アメリカ)
ベルント・ムルクタッセル
(イラストレーター、ハンブルグ応用科学大学教授/ドイツ)

【特別展示①】マヌエル・マルソル

広告と視聴覚コミュニケーションを学び、広告クリエイターとして国際的な受賞歴もあるマヌエル・マルソル(スペイン)。ボローニャ展には2014年から4年連続で入選し、昨年「ボローニャ・SM出版賞」を受賞しました。2015年の入選作は、絵本『エイハブ船長と白いクジラ』として日本でも出版されています。SM出版受賞記念絵本『ドン・フェルミンの伝説』は



『ドン・フェルミンの伝説』
(Ediciones SM, 2018)

スペインの昔話や文化からインスピレーションを得たオリジナルストーリー。ペラスケスやゴヤ、ドン・キホーテなどのスペイン文化を盛り込み制作された絵本の原画17点を展示します。

【特別展示②】クロエ・アルメラ

昨年よりブックフェアのコンセプトを分かりやすく伝えるためのビジュアル・アイデンティティの制作に、前年のボローニャ展入選者を起用しています。今年はクロエ・アルメラ(フランス)が選ばれました。アルメラは今年のブックフェアのテーマ「子どものためのコンテンツを育てる豊かな大地」を具現化するため、ブックフェア会場を忙しく動き回る人々やそこから新しいアイディアが生まれる様子をイメージし、13点の原画を描きました。この原画を、デザインスタジオとの共同作業の様子を交えて紹介します。

【映像コーナー】

今年1月の審査会、3月のブックフェアの様子や、審査員や入選作家、編集者へのインタビューを紹介します。絵本作家を目指す方は必見!!

【絵本コーナー】

展示作品や入選作家の絵本、ボローニャ・ブックフェアでラガッツィ賞を受賞した世界の絵本、おすすめ絵本などをご覧ください。



「セント・キルダ島の子ども」
ベス・ウォーターズ (イギリス)



「赤ずきんちゃん」
ソフィア・ヴェンゼル (ロシア)

●●●●●ポローニャ展関連イベント●●●●●

✿絵本アニメ上映会✿【入場無料】

世界の名作絵本アニメを上映します。絵本に登場するキャラクターがスクリーンを動き回ります。

開催日 11/3(土・祝)、10(土)、17(土)、24(土)、12/1(土)、8(土)

時間 11:00～11:40、13:00～13:40

会場 アートホール

✿かんたん絵本を作ろうよ!✿【要観覧券】

不要となったポスターなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

日時 会期中毎週土・日曜日、14:00～16:00

対象 4歳～小学生(未就学児は保護者同伴)

定員 各日10名(要申込、先着順)

持ち物 使いたい画材など

協力 絵本の会 もこもこ

会場 展示室内

申込 10/20(土) 9:00より電話にて受付。

✿「のまりん」の紙芝居劇場✿【入場無料】

紙芝居の前に座ると、大人も子どももワクワクドキドキ。世界で紙芝居の魅力を伝える「のまりん」の豊かな表現をお楽しみください。

日時 11/18(日)、11:00～11:40、13:00～13:40

出演 のまりん(野間成之氏)

会場 アートホール

✿おはなし劇場✿【入場無料】

絵本を大型スクリーンに投影しての読み聞かせ、温かみのある人形劇の上演などで、物語の世界へご招待します。簡単な手作りコーナーもあります。

日時 11/25(日)、10:30～11:30、13:00～14:00

協力 NPO法人 ぽっかぽか

会場 アートホール

✿ナイトミュージアム✿【要観覧券】

絵本の読み聞かせや会話を楽しみたい方、日は時間が取れない方に最適の夜間延長です。

日時 12/1(土)、17:00～20:00

※展示室が賑やかになる可能性があります。

澤田久奈のポローニャ日記

今年のポローニャ展に、福井県在住の澤田久奈さんが入選しました。ブックフェアを再訪した澤田さんの滞在記です。

2018年3月26日～29日までポローニャに渡航した。

ブックフェアに行くのは2度目である。初めての時は「とりあえず行ってみよう!」って気持ちで、2度目の今回は入選を知ってから行くことを決めた。



ブックフェア1日目は、フランクフルトに到着くはずの乗り継ぎのフライトが遅延した為、ポローニャには夜に到着。日本人入選者が集まる食事会には遅れたが参加することができた。

ブックフェア2日目は、疲れのためか朝に爆睡してしまい、アポをとっていた打ち合わせに遅れてしまう。最初からつまづいてしまい凹みまくっていたが、出版社の許さんは優しく接してくれて感謝した。ブックフェアに初めて訪れたときに中国の出版社との仕事が決まり、後に担当となったのが許さん。彼女と一緒に絵本を1冊出版することができた。顔を合わせるのとは今回はじめてで、ポローニャで楽しみにしていたことのひとつである。「また絵本を創りましょう!」と別れ、今回も帰国後に絵本の仕事を頂いた。

その日はフェア終了後、旧市街地を探索して美味しいジェラード屋さんや本屋さん、雑貨屋さんを巡った。ポローニャにも桜が咲いていて、イタリア人はおしゃれなバル屋台みたいなお店でお花見をしながらワインを飲んでいた。



ブックフェア3日目は、表彰式。緊張していたので他の入選者の方とお話できてちょっとホッとした。夜は出版社コライーニ主催の入選者のパーティーに

参加した。店内にはおしゃれな絵本がたくさん置いてあった。入選者の酒井りかさんは英語がペラペラでパーティー会場にいた韓国のファン・ウナさんと仲良くなり、パーティー後に3人で食事をした。ポローニャ名物タリアテッレアツラポロネーゼ、ポローニャハム、チーズ、ラザニアを堪能。すごく美味しかった。

私は英語もイタリア語もしゃべれない。毎回、もっと伝えられたらなーと思う。でも、語学を習得してから!っては思ってもらえず、たくさんの人に迷惑をかけてるかもしれないけれど、とりあえず行ってしまってる。次行くときは、今よりもうちょっと伝えられるようにしよう!と思うのが毎回感じることである。



「昔話のファイブ太郎」

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	800円	700円
※中学生以下無料・団体は20名以上です。			



図録 ¥2,500 (税込)



蔵書票 ¥1,000 (税込)
友の会会員価格 ¥900 (税込)

ミュージアムショップコーナーでは図録をはじめ、入選作品のポストカードや日本人入選作家のオリジナルグッズを販売します。当館友の会会員証のご提示で割引になる商品もあります。人気商品は会期中でも売切れてしまうこともありますので是非、お早めにお立ち寄りください。

●●●●●ポローニャ展グッズ販売●●●●●

能登立国千三百年・妙成寺五重塔建立四百年

「能登にはぐくまれた文化財」

「妙成寺の名宝を中心に」

9月22日(土)〔開催中〕～10月21日(日)

◆第2展示室

「能登立国千三百年」と「妙成寺五重塔建立四百年」

本年は「能登立国千三百年」という記念すべき年。奈良時代の養老2年(718)、律令国家成立に伴い越前国(福井県)より羽咋・能登・鳳至・珠洲4郡を分割、国として独立させたことが「能登国」のはじまりといわれます。

そしてもう1件、本年が大きな節目となる「能登ゆかり」の重要なできごとがあります。それは能登を代表する日蓮宗の古刹・妙成寺(羽咋市)のシンボル「五重塔」が、本年度で創建後400年目を迎えたことです。

妙成寺五重塔は江戸時代初期の元和4年(1618)、加賀藩第3代藩主・前田利常の生母寿福院の発願によって建立されました。その豪壮かつ優美な姿は、寿福院の信仰心や前田家の財力を現在に伝えるとともに、「能登の文化」を象徴する存在ともいえるでしょう。

そこで本展では「五重塔建立四百年」記念として、妙成寺所蔵の美術工芸品や歴史史料など名品の数々を展示。さらに「能登立国千三百年」にちなんで、他の能登地方ゆかりの文化財などを加えて計22点を紹介しています。



石川県指定文化財
「日乗上人像」
長谷川信春(等伯)
羽咋市・妙成寺蔵

能登の名刹・妙成寺

妙成寺は羽咋市滝谷町に所在する日蓮宗本山で、山号は「金栄山」。鎌倉時代の永仁2年(1294)に、日像上人を開山として日乗上人によって創建されたと伝わります。

江戸時代には「加賀百万石」前田家の庇護のもとで伽藍が整備されるなど大いに繁栄。北陸における法華信仰の拠点として、常に重要な地位を占めてきました。現在も人びとの信仰を集めるとともに、観光スポットとしても賑わっています。

五重塔をはじめとした建物群は、その多くが前田家によって普請されました。本堂や祖師堂などほとんどが創建当時の姿を現在に留めており、これだけの規模の寺院としては全国的にも希少です。そのため建造物のうち10棟が重要文化財、2棟が県指定文化財という充実ぶり。妙成寺は存在そのものが貴重な文化財といえるでしょう。

また歴史と伝統を持つ同寺には、数多の優れた什物が所蔵されています。能登での法華信仰を物語る經典類や、庇護者であった前田家ゆかりの品々。そして能登七尾出身で桃山時代に大活躍した絵師・長谷川等伯や「長谷川派」絵師による仏画など、実に多彩なラインナップが集います。

今回はそれら貴重な宝物より特に絵画と漆工・典籍をピックアップ。重要文化財「山水蒔絵料紙簞」や「山水蒔絵机」をはじめ、文化財指定作品を中心に展示しています。



重要文化財「山水蒔絵料紙簞」
羽咋市・妙成寺蔵



重要文化財「山水蒔絵机」
羽咋市・妙成寺蔵

妙成寺と「長谷川派」

「能登の美術」を語るうえで欠かせない存在が長谷川等伯とその一門「長谷川派」でしょう。実は彼ら、妙成寺と深い繋がりがあったようです。

同寺には現在、等伯や「長谷川派」絵師による作品が、可能性があるものを含めて計5点も所蔵されています。内訳は等伯能登時代の若年期制作になる仏画が3点(「日蓮聖人像」・「日乗上人像」・「涅槃図」)、等伯一門と考えられている絵師・長谷川等誓筆の金碧画「松・杉・楨図屏風」、無落款ながら画風から「長谷川派」絵師の制作と思われる仏画「毘沙門天像」です。

この充実した内容から想像されるのは、「長谷川派」にとって妙成寺が重要な拠点であったこと。有力なパトロンだったのかもしれない。さらに妙成寺第15世の日條上人が描いた仏画が「長谷川派」の画風とそっくりなのも注目点で、もしかすると「長谷川派」絵師の誰かに絵を学んだ可能性もあります。つまり両者の間には、より幅広い交流があったとも考えられるのです。

以上のことから、妙成寺には「長谷川派」の工房が存在したのではないかという説があります。その辺りは史料がなく判然としませんが、いざにせよ「長谷川派」にとって妙成寺は必要不可欠な存在であったことは疑いないでしょう。

展覧会では前記の「長谷川派」関連作品5点と、日條上人筆の絵画1点を展示していますので、ぜひともご鑑賞ください。



石川県指定文化財
「涅槃図」
長谷川信春(等伯)
羽咋市・妙成寺蔵

同時開催

「山紫水明」

◆第1展示室

「山紫水明」とは、日の光があたたまった山々は紫にかすみ、川を流れる水は澄みきってとても美しい」という意味で、つまり「自然の風景が清らかで美しい」ことをいいます。それを詠われる地はいずれも自然の素晴らしさ・魅力に満ちあふれ、多くの人がとを惹きつけてやみません。

それは美術工芸をつかさどる作家たちにとっても同じ。時代やジャンルを問わず、数多くの作家たちが自然のおりなす絶景に感銘を受け、それを自らの表現を駆使しつつ表現してきました。

そこで本展では、美しい自然風景や理想郷などを表現した絵画や工芸を、当館所蔵品や寄託品より展示。七尾市出身の実業家・池田文夫氏蒐集の「池田コレクション」や、長谷川等伯をはじめとする「能登ゆかりの作家作品」などより、計21点を紹介しています。



「雪景山水図屏風」(右隻) 佐々木泉景 個人蔵



「色絵山水図四方形小皿 古九谷」
(池田コレクション)

「山水人物図」長谷川等叔 個人蔵

◇共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	3500円	3000円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

ティールームからのお知らせ

展覧会を楽しんだあとは、ティールームでゆっくりおくつろぎください。

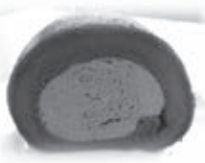


♡ ボローニャ展限定メニュー

「ボローニャケーキセット」ドリンク付き(7500円)
□ 溶けの良いチョコスフレ生地と、濃厚なチョコクリーム、のロールケーキです。

「ボローニャパスタセット」ミニサラダ付き(8500円)
《ボンコレッソ》

大粒のあさりを使用し、コクのあるトマトソースにガーリック、アンチョビを効かせたパスタです。



ボローニャ
ケーキセット



ボローニャ
パスタセット

☆ランチメニュー、ケーキセットなどボローニャ展限定メニューをご注文のお客様には、本展出品作品をモチーフにしたペーパーコースターが付いてきます。
《期間11/2〜12/9》
●当館友の会会員は会員証の提示で10%割引になります。

貸館催し物案内

市民ギャラリー

第13回彩の会・写団のと展

10月12日(金)〜14日(日)

最終日は午後4時30分まで

七尾市を中心に活動する洋画グループ「彩の会」と写真グループ「写団のと」の合同作品展です。

無入場

会員20名が近作約80点を展示発表します。芸術の秋。ぜひご来場ご高覧ください。

主催 七尾市文化協会
連絡先 彩の会 加地 求

☎090(8703) 1326

MOA美術館七尾・中能登児童作品展

無入場

10月18日(木)〜21日(日)

初日は午後1時から

生命を尊ぶ心、心豊かな人間形成を願いに、未来にはばたく子供たちに、夢と希望を与える入賞作品を展示させていただきますので、ぜひご鑑賞ください。10月21日10時より美術館アートホールにて入賞者の表彰式を行います。

主催 (公財) 岡田茂吉美術文化財団(MOA美術館)、MOA美術館七尾・中能登児童作品展実行委員会

連絡先 同展実行委員会

☎0767(53) 3914

第64回七尾市美術展

無入場

10月26日(金)〜29日(月)

最終日は午後3時まで

能登最大規模の美術の公募展です。青少年の美術育成と向上を願っております。10月28日(日)午後1時より、アートホールにて入賞者の表彰式を行います。力作ぞろいです。是非、足をお運びください。

主催 七尾美術作家協会
連絡先 同協会 副会長 橋本義則

☎0767(53) 3013



第75回北國写真展 七尾展

無入場

12月20日(木)～23日(日・祝)

アツ、ハツ、と息を呑む、穏やかな気持ちに浸れるような、もう一度見たいと思わせる、そんな作品が並ぶと思う。その作品の裏にどんなドラマが秘んでいるのか、そこが知りたくなる。待ちましよう。

主催 北國写真連盟、北國新聞社、富山新聞社、福井新聞社

連絡先 宮崎 功 ☎090(4320)2178

アートホール

dolceピアノコンサート

無入場

11月4日(日)開演 午後1時30分

小学生から大人までが出演する、年に一度のピアノ発表会です。今年は第20回記念で原田実さんの三味線の演奏や講師による6手連弾もあります。どなたでもお気軽にお越しください。

主催 ピアノグループdolce

連絡先 井藤真理 ☎0767(58)1253

「能登立国1300年」記念講演

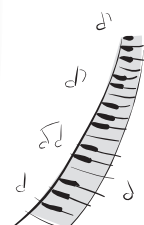
無入場

12月16日(日)開演 午後1時30分

城郭考古学者、奈良大学文学部文化財学科教授、千田嘉博氏による講演会を開催いたします。ご来場をお待ちしております。入場整理券が必要となります。

主催 七尾ロータリークラブ

連絡先 ☎0767(53)5590



七尾の大地コーナー

七尾の名がつく貝類やデスマスチルス、巨大サメなどの化石を展示。



里山コーナー

里山に生息する多種多様な植物・昆虫などの標本と、自然と歴史的環境を紹介。



里海コーナー

伝統的な伝馬船と漁具を展示し、能登のブリ漁や貝の養殖などを紹介。



歴史コーナー

海運交易で見る七尾の歴史の紹介や、七尾城の歴史をAR※で体感できます。



※AR…オーグメントド・リアリティ。拡張現実。コンピュータを使い現実世界をより拡張する技術。

里山里海に暮らす

里山里海での社会生活における、自然との共生についての課題を提起します。



ミュージアム外観

七尾の祭コーナー

青柏祭や奉燈祭、お熊甲祭など特色ある七尾の祭を紹介。



里山里海シアター

映像で七尾の祭や里山里海の魅力を体験できます。



平成30年10月28日オープン!! 「のと里山里海ミュージアム」

のと里山里海ミュージアム
石川県七尾市国分町イ部1番地
☎0767・57・5100
<https://noto-museum.jp/>

今年でついに
第5回！

やま ん てら
10月21日(日)、「山の寺の日」再来。

宗派が異なる16の寺院がタッグを組んで盛大に開催される祭典「山の寺の日」。平成26年以来、毎年秋に開かれてきた年に1度のビッグイベントが、いよいよ今年もやってきます。

「山の寺寺院群」は今から約400年前の安土桃山時代、当時の能登国主であった前田利家が新しく七尾の城下町を整備する際に、周辺に点在していた寺院を1箇所に集結させたのがはじまりといわれます。

各寺院はそれぞれに長い歴史を持ち、貴重な歴史史料や美術工芸品などを所蔵しています。その内容といえは宗教にちなむ書跡・典籍・美術品は無論のこと、かつて能登国を統治した能登畠山氏・加賀藩前田氏関連の史料、そして長谷川等伯とその一門「長谷川派」ゆかりの絵画など、いずれも名だたる文化財ばかり。

普段は大切に保管され滅多に観ることのできないそれら珠玉の寺宝類が、何と「山の寺の日」には一斉に特別公開されます。さらに「秋の三めぐり 仏像(宝物)・御朱印・寺学」をテーマに、各寺院では「当日限定」のイベントも華やかに繰り広げられるという大サービスぶり。恒例の「特別講演」では、当館学芸員が長谷川等伯について熱く語ります(午後1時より妙観院にて)。

今回も必ずや皆さまの知的探究心を満足させてくれること疑いなし。秋の1日、七尾が誇る歴史スポット「山の寺寺院群」で、郷土のすばらしい歴史と文化を心ゆくまで体感すべし！



「山の寺遊歩道」

開催日時：10月21日(日) 9:00～16:00

※当日は当館と寺院群を巡る、便利な無料シャトルバスも運行されます。

※詳細は「山の寺の日」実行委員会事務局(長壽寺内☎0767-52-1247)までお問い合わせください。

友の会美術講座「日本画体験～干支を描く」

描くのが苦手でも大丈夫！！

古くから日本に伝わる伝統的な日本画は、鉱物を砕いた岩絵具を、動物のゼラチン質から成る膠で溶いて描きます。普段、鑑賞する機会があっても、画材や技法について詳しく知る機会意外と少ないものです。

今回は、金沢市在住の日本画家・土農 力(旧雅号・中町 力)氏を講師にお迎えし、岩絵具や墨、長谷川等伯も用いた胡粉という貝殻から作った白色や、金箔から作った金泥も使用し、色紙に来年の干支・亥の玩具を描きます。オリジナル色紙で、新年を飾りませんか♪なお、昼食後には、開催中の「様々な風景を楽しむ」に展示中の、土農氏新寄附作品などを解説付きで鑑賞します。

参加者大募集



「干支色紙」土農 力 氏作

日 時…12月16日(日) 10:00～16:00

※昼休憩は1時間の予定。

場 所…石川県七尾美術館 会議室

講 師…土農 力 氏(日本画家、日展会員、金沢学院大学教授)

定 員…15名(定員に達し次第締め切り)

対 象…友の会会員とその家族(小学生以上に限る)

※同伴者は1名まで。

参加費…1,500円(材料費含む)

※高校生以上の方は、別途展覧会観覧券が必要。

持ち物…参加費、HBの鉛筆、消しゴム、昼食、飲み物、汚れてもよいタオル2枚。

募 集…10月6日(土)9:00より電話にて受付。

石川県七尾美術館 ☎0767-53-1500



これからの展覧会予定



平成30年12月15日(土)～平成31年2月11日(月・祝)

◆第1展示室 「桃山のやきものを愛でる」

日本の「やきもの」を語る上で、欠かすことができない「桃山時代」。茶の湯の繁栄も伴い、様々なやきものが生み出されました。現在、数々の名品が伝わることから、人々に愛され続けてきたことが分かります。本テーマでは、池田コレクションより味わい深い桃山時代の志野焼、織部焼、唐津焼など、約40点を展覧します。



「織部沓形茶碗」
(池田コレクション)

◆第2展示室 「様々な風景を旅する」

この地球上には、世界的に知られた名所から、とある小さな町や村の名もない路地まで、数えきれない多くの風景があります。それらの風景は、それぞれ異なる魅力があり、そこに暮らす人々や旅人を惹きつけ、時には厳しくも、感動や癒しを与えてくれます。本テーマでは、作家たちが心惹かれた国内外の様々な風景を、絵画23点で紹介します。



「懸」 曲子光男

平成31年2月23日(土)～4月21日(日)

◆第1展示室 「モチーフを知る～仏画から肖像まで～」

神像や仏像にはそれぞれのご利益など、作られた理由があります。人物像にも作者がそのモデルを通して表現したい何かがあります。モチーフが何であるか知ること、少しだけ作品の見方が変わるかもしれません。絵画と彫刻を中心に約20点を紹介します。



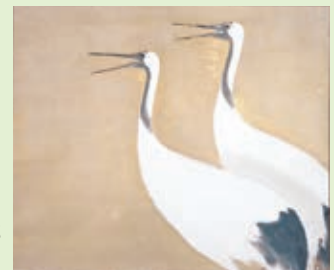
「横山大観像」 田中太郎

◆第2展示室 「バードパラダイス!!」

鳥たちがその翼で空を飛ぶ姿は人類の憧れの対象であり、古くから美術工芸品のモチーフとして私たちの身の回りを彩ってきました。日本の豊かな自然のなかで餌をついばむ姿や美しいさえずりは、いつも私たちを癒してくれます。

当館所蔵品より、日本の風土を色濃く反映した鳥の姿をモチーフとする、絵画・工芸・彫刻作品約30点を展示します。

桃山から現代までの鳥たちが集う楽園をご覧ください。



「双鶴図」 前田青邨
(池田コレクション)

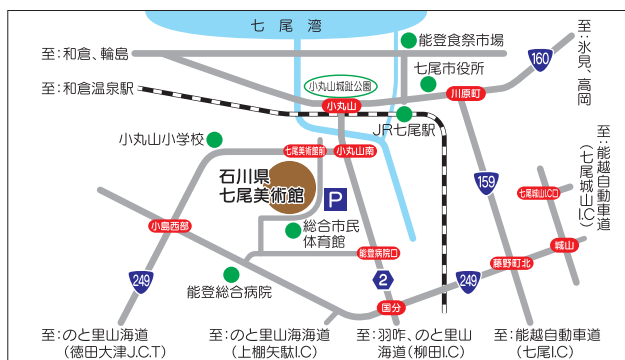


割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。

無線でネット



エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fiスポットサービスの「FREESPOT」をご利用頂けます。



飛行機……のと里山空港から「のと里山海道」利用約45分
車……「のと里山海道」徳田大津J.C.Tから約15分又は「能越自動車道」七尾城山I.C又は七尾I.Cから約10分
タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バス「まりん号」

……JR七尾駅前「ミナ・クル」バス停から「七尾美術館」下車(順回り約8分・逆回り約14分、1日各8便)
なおコミュニティバス「ぐるっと7」
……JR七尾駅前5番乗り場から「小丸山台1丁目」下車(西コース約10分、1日4便)

◎次号・第96号(冬号)は1月1日発行予定です。

2018							2018
日	月	火	水	木	金	土	10
	1	2	3	4	5	6	October
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				
2019							2019
日	月	火	水	木	金	土	11
				1	2	3	November
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30		
2019							2019
日	月	火	水	木	金	土	12
						1	December
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

◆10月～12月カレンダー◆
開館時間 ◆午前9時～午後5時 ◆※は休館日
(入館は午後4時30分まで)

〒926-0855 石川県七尾市小丸山台一丁目1番地
TEL(0767)53-1500/FAX(0767)53-6262
<http://nanao-art-museum.jp>

石川県七尾美術館だより

第95号(秋号)